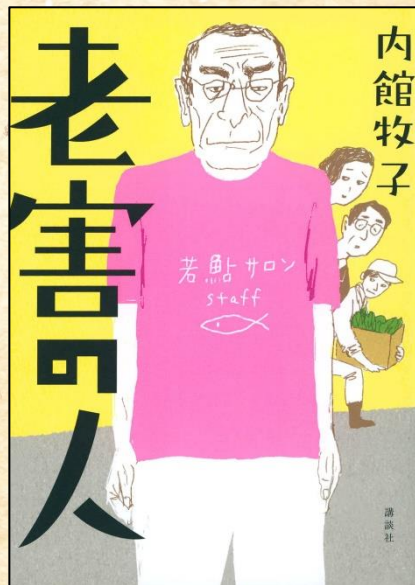


新刊図書のご案内

男女共同参画センターでは本の貸出を行っています。お1人様2週間2冊まで。ご利用お待ちしております。

* 老害の人 *

著者：内館 牧子



元気な老人たちの物語です。まだまだ若い人たちには負けられないと、新しい事業を始めようとしますが、いろいろな困難や不幸が降りかかってきます。高齢者には「教育(今日、行く)と教養(今日、用)が必要だ」という言葉に、「なるほど!」と思わされました。まだまだ活躍できる人たちが家でじっとして老け込んでいくのは大きな社会的損失です。図太さとしたたかさを兼ね備えた老人たちの活躍をお楽しみください。

* ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち *

著者：吉川 徹



幼少期からゲームに親しんできた著者。児童精神科医として多くの子どもたちと関わってきた経験から提唱するゲーム・ネットとの距離感について書かれた本です。ゲームや子どもたちをタイプ別に分け、依存症とそうでない場合について詳しく書かれています。大人が頭ごなしにゲームやネットを嫌い、子どもからそれらを遠ざける事の危険性や、発達障害との関係について書かれた章は非常に興味深く読めました。こういう考え方もあると視野を広げることが出来る本です。

* 職場で使えるジェンダー・ハラスメント対策ブック *

著者: 小林 敦子



著者は、組織におけるジェンダーハラスメントの防止研修プログラムを心理学の視点から考察・実践されている方です。

理論編・実践編と分かれており、ジェンダー・ハラスメントの知識をつけたい方や実践的な研修を知りたい方に読んでいただきたい本です。

ジェンダー・ハラスメントの具体例も多く記載されています。

特に、付録の「創作落語 じえんだー・はらすめんと」を読むと、自分自身が気づかなかった偏見に気づくことができ、対策の必要性を自分の事として考える事ができるようになると思います。

創作落語だけでも読んでみませんか？

* じぶん、まる！ *

著者: 田中 一步



すべての子どもたちには<性のあり方><性の多様性>について、知る権利がある。そしてもし「じぶんはみんなとちがうからおかしい」「ひとりぼっちだ。」と思っている子がいるとしたら、「おかしくないよ。」「ひとりじゃないよ。」を届けたくて、著者は、2015年1月、にじいろi-Ru(アイル)を立ち上げ、出前講座をスタートさせました。

皆さんもこの本の中の子ども達と一緒に、性のあり方・性の多様性を、考えてみませんか？